

第6回九州保育三団体研究大会 分科会

【カテゴリー1】子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を生かし、側面的に支援することとおして、その子どもの発達を保障することにあります。

子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

◎ 第1分科会 新たな時代の保育実践～すべての子供にむけて～

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されます。また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

○意見発表者 長崎県・熊本県・鹿児島県

○助言者 中村学園大学 教授 那須 信樹 氏

○定員 230名

○会場 ベストウェスタンレンブラントホテル鹿児島リゾート 2階 桜島

◎ 第2分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

保育所・認定こども園等では、発達障害など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

○意見発表者 熊本県・鹿児島県・宮崎県

○助言者 鹿児島国際大学 准教授 有村 玲香 氏

○定員 260名

○会場 ホテルウェルビューかごしま 2階 潮騒

◎ 第3分科会 保育者の資質向上を図る

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化の進展があげられます。そのため、職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップに一層留意する必要があります。また、子ども・子育て支援新制度施行後、利用者のいっそうの多様化がすすむことが想定されます。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践、さらには今後保育者にもとめられる資質向上のあり方について研究を深めます。

○意見発表者 沖縄県・宮崎県・鹿児島県

○助言者 元鹿児島女子短期大学 教授 坪井 敏純 氏

○定員 205名

○会場 マリンパレスかごしま マリンホール